

# 資料 2 - 2

## 下水道政策研究委員会 脱炭素社会への貢献のあり方検討小委員会

事務局：国土交通省、日本下水道協会

検討内容：脱炭素社会の実現に向けて目指すべき下水道の在り方や必要な方策、ロードマップ等

1. 脱炭素社会に貢献するための下水道の在り方（基本的考え方）
2. 2030年、2050年までに向けての取り組みの進め方
3. 他分野との連携など、創エネ・再エネを一層拡大する方策
4. 施設の老朽化が進む中、省エネやN2Oの排出削減を効率的に行うための方策
5. 本邦技術活用や他国との協力・連携などの国際貢献の在り方

下水道管理者（自治体）への  
支援方策

2030年、2050年までのそれぞれに取り  
組むべき技術開発内容・ロードマップ

## 下水道GX促進検討委員会(仮称)

事務局：日本下水道協会

検討内容：主に自治体向け脱炭素検討支援方策など

○脱炭素に関する事例の蓄積、先進事例の水平展開等

○下水道資源の循環利用（下水汚泥の農業利用、建設資材、下水熱、再生水等）による地域脱炭素への貢献の事例蓄積、他産業との連携の仕組みづくり 等

## 下水道技術開発会議 エネルギー分科会

期間：2021年9月～2022年3月

事務局：国土技術政策総合研究所、日本下水道新技術機構

検討内容：温室効果ガス削減に向けた技術開発のロードマップ

○2030年までに取り組むべき技術の再整理（早急に改善に取り組むべき既存技術の抽出と改善目標の設定）

○2050年までに取り組むべき技術開発（新規エネルギーを利用した処理技術など新たにに取り組むべき技術開発と開発目標の設定 等